



沢田 治雄



腰原 幹雄

## 「環境にやさしい」は本当か？

# 環境配慮型社会へのCSR活動とその評価に関する研究会 RC-67

### 1. 代表幹事

- 沢田治雄（東京大学 生産技術研究所  
都市基盤安全工学国際研究センター 教授）  
腰原幹雄（東京大学 生産技術研究所  
都市基盤安全工学国際研究センター 准教授）  
田中伸治（東京大学 生産技術研究所  
都市基盤安全工学国際研究センター 講師）  
遠藤貴宏（東京大学 生産技術研究所  
都市基盤安全工学国際研究センター 助教）

### 連絡先

吉本英子（東京大学 生産技術研究所  
都市基盤安全工学国際研究センター 秘書）  
Tel : 03-5452-6472  
Fax : 03-5452-6476  
e-mail : yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp

## 2. 主旨

企業の社会的責任と訳されるCSR（Corporate Social Responsibility）の活動は、企業が自発的に、企業自らの持続性の実現とともに、持続可能な未来を社会とともに築いていく活動であり、企業経営の根幹にかかわる姿勢の現れを示す。会社の存在価値を問われることでもあり、様々な企業がCSR活動を展開している。しかし、ヨーロッパでは消費者に対するイメージ向上を狙い、顧客誘引力を上げようという考えによって行われる活動はCSRとして評価されていない。米国では、株主への説明責任という観点から、企業のCSRへの理解、認識は歴史的に深いが、企業収益と企業価値の向上（株式総額の向上）への指向によって、歪められてしまうことも多い。一方、日本では社会とともにどのような視点でCSRを捉え、いかに具体的に活動を展開するべきか、確立した考え方を持つ企業はまだ少ないと言えよう。

本研究会では、世界的に通じるCSRの考えに立ちながら、特に、近年関心が高まっている地球環境問題にかかわる日本企業の国内外でのCSR活動の実態を調査、検討し、CSR活動の指針を示すことを目標とする。

ワーキンググループ

- ・日本の自然環境に関わるCSR活動
- ・都市環境に関わるCSR活動
- ・開発途上国の自然環境に関わるCSR活動

## 3. その他

期 間：平成22年4月～平成23年3月

年 会 費：賛助員の場合（賛助会費一口10万円）：年会費10万円

定 員：参加社数制限無し、1社毎の参加人数制限無し

運 営 方 法：開催予定（年5回開催、1回3時間等）と

開催形態 WGを形成し、課題について議論をし報告書にまとめる



熱帯における大規模な植林



途上国における教育の提供



様々な熱帯材